

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法人名	医療法人 起生会
事業所名	ハートフル 林
所在地	鹿児島県鹿児島市西田三丁目15番5号 (電話) 099 - 257 - 6977
自己評価作成日	平成29年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは鹿児島中央駅近くに位置し、交通や買物など利便性の良い場所にある。病院の跡地を利用した施設で2階と4階をグループホームとして利用しており、3階は系列法人の運営する有料老人ホーム、1階にはデイサービスがあり、相互に協力し、出来る限りの相談に対応させて頂いている。

また、母体が医療法人であり、医療機関との24時間医療連携体制が確保されている事で、ご利用者様及びご家族様に安心した生活を送って頂けるように支援している。医療法人は40周年を迎えた現在まで、地元で根ざした医療サービスを行っており、その方針の下で常に地域密着方サービスの意義を踏まえたサービスに取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームは母体の医療機関と24時間医療連携体制を確保し、系列法人の運営する福祉施設との相互協力関係を確立している。4階ベランダに畑を造設し、職員と共に大根など旬の野菜を栽培している。

・認知症専門の医療機関からの訪問診療等を受け、利用者の状況に応じた支援を行っている。

・自治会に加入し、地域行事の夏まつりや敬老会・防災訓練等に参加している。小学生の施設見学や施設行事に踊り・手品での参加や傾聴ボランティアの受け入れをしている。高校生の実習も受け入れて、日常的に地域住民と交流している。

・管理者と職員は利用者の長所や持てる力を伸ばそうとする取り組みを行っている。

・産業カウンセラーによる職員のカウンセリングを行っている。

・職員は研修参加や資格取得に向けて日々研鑽している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念である「優しさと思いやりの心」を持って傾聴と受容を大切に職員で意思統一を図り、利用者に寄り添うケアの実践に努めている。	事業所独自の理念をホールや事務所に掲示し、ネームと一緒に全職員が携帯し、ミーティングや全体会議・責任者会議で振り返っている。理念に基づいたケアのあり方を数多く話し合い、理念を共有しながら、寄り添うケアの実践と統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に参加し、回覧板などで地域活動の情報を集め、夏祭りや敬老会等に参加している。	自治会に加入し回覧板や自治会長・民生委員等から情報を得て地域行事の夏まつりや敬老会・防災訓練等に参加している。小学生の施設見学や施設行事に踊り・手品での参加や傾聴ボランティアの受け入れをしている。高校生の実習も受け入れている。近隣住民からオムツ提供がある等、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	積極的に施設見学をして頂き、入居相談を受ける中で、認知症の理解や支援の方法を伝えている。また、他高校生や介護の実習生を受け入れており、実習を通して認知症の理解や支援の方法を学んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を行い、事業所の活動報告や入居者様の状況報告、ご家族様の意見等を伺い、他業種の意見等を頂きながら、サービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の活動状況や入居者の生活状況・外部評価の結果など報告している。参加者からも、それぞれの立場で活発な意見交換をしている。言葉遣いや接し方のマナーを話し合い、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿安心支援センター城西主催の連絡会で意見交換等を積極的に図っており、また、運営推進会議にて長寿安心支援センターの担当者から意見具申を頂いている。</p>	<p>市担当者とは窓口を訪ね、報告や相談をして、入居者の暮らしぶりやケアの様子を伝えたり、書類の手続き等で指導を受けている。生活保護担当者や介護相談員の訪問もあり、常に協力関係にある。長寿安心支援センター担当者も運営推進会議や年4回の連絡会・研修会参加などで日頃から連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>月1回同一法人内の身体拘束委員会に代表が参加して、全職員が身体拘束について再度理解、確認出来る様に努めている。また、各フロアにマニュアルがあり、やむを得ず身体拘束を行う場合はマニュアルで確認をしている。利用者の状態によっては解除したり、代替的手段はないか検討している。</p>	<p>身体拘束についてのマニュアルをもとに、年3回の勉強会をしている。月1回法人主催の身体拘束廃止委員会があり、ミーティングや合同会議、その都度、対応等について理解や確認に努めている。言葉遣いも含め利用者の心身を拘束しないケアを学んでいる。玄関の施錠はせずに見守り支援をしている。夜間の不穏状態時はカンファレンスで検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回のミーティング等で虐待についての勉強会をしている。一人一人が自覚を持ち、声掛け等に気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者の中には成年後見人制度を利用している方もいて理解は出来ている。また、必要性のある利用者には積極的に支援をしていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所時の説明は丁寧に行っている。また、改定時には家族会及び運営推進会議で意見を図り、家族に周知して頂いている。また、疑問点等は丁寧に回答させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	事業所に苦情相談窓口や苦情相談箱を設置したり、介護相談員を受け入れ、意見要望を積極的に聞くことで、運営に反映させている。	利用者からは日々の暮らしの中で思いを聞いている。介護相談員の受け入れも実施している。家族からは、面会や家族会を演芸会やクリスマス会など同日に開催し、そこでの意見を聞いている。家族へ毎月担当者が写真を添付して近況報告し、4ヵ月毎に施設だよりも郵送し、電話等で要望や意見を聞いている。出された意見や要望は話し合い、職員の接遇についてや経費納入の仕方について意見を反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者や管理者は、月1回の職員会議や個別面談、日々の会話を通して意見を積極的に聞く事で、運営に反映させ、サービスの向上に努めている。</p>	<p>管理者は申し送り時や月1回の職員会議、日々のコミュニケーションの中で随時相談事など積極的に傾聴し、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。職員から出された提案や意見は運営に反映させている。年1回個人面談もしている。意見で、入居者中心の支援を心がけ入居者の笑顔が多く見られ、ケアの質の向上に繋がっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の努力や実績は人事考課で評価する制度が確立している。それが、昇給、賞与に反映されている。自己啓発により資格取得すると手当等に反映されている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>キャリアに応じて法人内外の各種研修に積極的に参加し、職員間の意識を高める様にしている。また、資格取得も支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域交流会を年に4回行っている。意見交換や勉強会をして、互いの施設の質の向上に取り組んでいる。また、GH連絡協議会の研修等には積極的に参加して自己啓発を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の願いや思いに気付ける様にしっかりと向き合う様に心掛けている。また、話しやすい対応、声掛け、表情にも気を付けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>関係機関より情報を頂き、情報をもとに、ご本人から聞けない要望や相談事もご家族から話して頂ける様な関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の現状を受け入れ、当面必要な事項を優先し、その都度必要なケアを見直し随時対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に生活をするという事を念頭に置き、目線を合わせ、家事等手伝って頂きながら、お互いに支えあう関係作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の関係を第一に考え、面会時に日常生活の報告をしたり、月に1度の書面による近況報告を行っている。また、常にご家族と相談しながら共にご本人を支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の方が訪問された際は、居室でゆっくり過ごせるように配慮している。知人の方にはお帰りの際にまたの訪問を依頼している。行事への参加の声掛けもしている。	馴染みの近隣商店での買物や自宅の郵便物・果樹の見まわり等の支援をしている。職場の友や知人等の面会や訪問には、行事への案内や一緒にレクリエーションに参加して楽しまれたり、くつろげる空間づくりを心がけている。理美容院は2ヶ月毎に訪問でカットや家族同伴での美容室や墓参りに出かけ、関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士のコミュニケーションが上手くいく様に職員が間に入って会話や交流が出来る様になっている。利用者の関わりを把握する様に心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同一法人内の病院に入院されている方に見舞いに行き、今までの関係が断ち切れない様になっている。いつでも気軽に遊びに来て頂いたり、相談に乗れる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや生活に対する意向を汲みとれる様に日頃から声掛けやコミュニケーションを大事にしている。夜勤等個々と向き合える時間を作る様にしている。家族からも意見を頂いている。	日々のコミュニケーションを大事にし、表情や会話などから思いを推し測り、申し送りなどで全職員で共有している。意思疎通が困難な場合、日報や連絡ノート・家族や関係者などから情報を得て、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にこれまでの生活暦については書類に書いて頂いている。入居後は家族の面会時等に利用者についての情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活リズムに合わせて生活して頂いている。利用者の現状については、職員間で情報交換を随時行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングにて、適切で統一したケアが出来ているか検討し、担当者会議でご本人、ご家族及び関係者の意見を反映しながら現状に即した介護計画を作成している。	利用者・家族の希望や要望を聞き、主治医の意見をもとに介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングで目標達成度を把握し、6ヶ月毎に介護計画の見直しをしている。状態変化や受診結果により介護計画の見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を毎日行い、申し送りや、申送りノートなどの活用で情報の共有を行い、介護の実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携によるリハビリの送迎、精神科医による在宅訪問診療、訪問マッサージ、訪問介護の利用等、本人のニーズに対応して柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	西田文化協会主催行事（夏祭り、敬老会等）に参加、常盤町内会おはら祭り踊り連の訪問や介護実習等の外部からの受け入れを積極的に行い、利用者を楽しんで頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	外科・歯科・皮膚科等は利用者のかかりつけ医による往診をお願いしている。	入居前からのかかりつけ医の受診を支援している。家族の支援が主であるが状況により職員同行受診など医療機関と関係を密に結んでいる。24時間医療連携体制が整っている。眼科は家族同伴の受診で、皮膚科・歯科等は2週間に1回の訪問診療がある。認知症専門の医療機関からも2週間毎に訪問診療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日バイタル、食事状況、睡眠状況、皮膚状態などの健康観察を行い、異常時は施設看護師や主治医等に相談し、早めの受診を行い、適切な対応を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>同法人の病院のSWと連携を取り、早期退院が出来る様に支援している。病院も近くにあるので、職員が面会に行き状態把握が出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の契約時や利用者の状態をみて家族から急変時や終末期の意向を聴取している。近くにある同法人の病院とも連携している。</p>	<p>重度化や終末期に向けたマニュアルが有り、契約時に説明している。看取り希望者には家族と主治医・職員でその都度話し合い、方針を共有し支援に取り組んでいる。予測される状態への対応、緊急時の対応についての連絡体制を確立し、看護師と連携をはかりながら全職員で支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>病院と連携を図り、昼夜問わず全職員が対応出来る様に努めている。また、AEDの取り扱いについて講習を受けており、勉強会も定期的に行っている。緊急時は施設看護師が協力し対応出来る様にしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を行っている。そのうち1回は消防署の方にも参加して頂き意見等を頂いている。同じ建物内の協力体制は築けているが、地域には今後協力を得られる様にしていきたい。フロアに避難経路図は掲示している。</p>	<p>年2回、昼・夜間を想定して入居者や職員と共に通報・避難訓練を行っている。消防署の指導を受け、内1回を消火訓練や業者によるAEDの使用について講習を行っている。避難経路図も見える場所に掲示している。自主訓練は年2～3回行っている。非常食として、流動食やカップ麺・缶詰・水・レトルト食品等を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇については、研修を行い人権の尊厳を守り、ケア時にプライバシーが守られるように注意し誇りが保てるような対応に心掛けています。	年2回、研修会を行い接遇対応の質を高め、個々に合わせたさりげないケアに努めている。言葉遣いや入室時はノックする・トイレの排泄時はカーテンを閉める等のプライバシーにも心がけ対応している。衣類の選択も自己決定しやすいよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員はご家族様からの情報、日常生活の中での言動、何気ない表情、行動の中から、本人の思いや要望を汲み取り、自己決定出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活歴に沿い、声かけし傾聴しながら、どのように過ごしたいか個々のペースに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洗顔できない方にはホットタオルを準備し、整容を行っている。また、入浴後や更衣する際は入居者様に好みの形や色を選んで頂き、着こなしを楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材を見ながらメニューの相談や味付けの相談、盛り付け等を手伝ってもらっている。また、お盆拭き、八百屋さんから届いた食材の始末など職員と一緒にやっている。</p>	<p>入所時に嗜好調査やアレルギーの有無を聴取している。ホーム菜園で育てた野菜を利用者と採取し食材に使ったりしている。代替食や嚥下機能に応じた食事形態で提供している。下ごしらえから後始末のお盆拭き等、身体機能に応じて職員と一緒にやっている。誕生会や季節の行事食・ベランダでのバーベキュー・外食等、食事が楽しめるよう支援している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量は個人の活動量や疾患、体型、嚥下力等を考慮しながら、主治医や法人の管理栄養士に相談しながら、ひとり一人に応じた支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個々に応じた口腔ケア用品を使い残存機能を活かしたケアを行っている。また、自立されている方に関しては口腔ケアの見守り、終了後の確認をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食事やお茶の後等、排泄の声かけを行い、トイレでの排泄支援を行ったり、夜間帯は、個人の能力に応じてポータブルトイレを設置し、自力で排泄が行えるように支援している。	排泄チェック表をもとにトイレでの排泄支援をしている。ベット上での排泄者も気分が良い時はトイレでの排泄を促している。ポータブルトイレや自立歩行でのトイレでの排泄等の支援をしている。オムツ使用からトイレ誘導し、排泄の自立へと改善された事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事に食物繊維の多い物を提供したり、水分も多く摂取出来るように、ご家族と相談しながら、ヤクルトやジュース等の嗜好品を取り入れている。また、毎日体操を行うなどして便秘の予防に努めている。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	リハビリやマッサージの時間等を考えながら、入浴して頂いている。季節により柚子やお茶風呂などで楽しんで頂き、温度も好みの温度にしている。	入浴日は基本的に週2日であるが希望があれば毎日でも可能である。時間や湯の温度の調整や2名介助の支援をしている。入浴拒否がある場合は表情が良い時に声かけをしたり、無理強いせず、順番や職員の交代を図ったり、ゆず湯などで利用者の入浴を楽しいものになるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	入居者の体調やペースに合わせて 居室の温度設定を行いながら、 冬は加湿器を準備し、気持ちよ く眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	定期的な病院受診で病院と連携 し、薬の調整を行っている。職 員が一人ひとりの薬を把握し、 症状の変化があった際は、施設 看護師に報告し速やかに対処し ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	一人ひとりの生活歴を伺い、そ の方に合った、料理の手伝い裁 縫、レクリエーション等工夫を しながら、支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	施設の季節行事として花見やピ クニック、初詣等への外出支援 や、ご家族の協力で散歩や、木 市などに出掛けられている。	日常的には近隣の散歩や商店街 での買物をしている。地域行事 の夏まつりや敬老会に参加し たり、年間計画で、車椅子の入 居者もピクニックや春の桜・秋 のコスモスの花見や初詣等に出 かけ、年1回は外食もしている。 家族の協力で木市や買い物等の 支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人の能力に応じてはご自分で管理されている方もいらっしゃるが、希望があれば職員が同行したり、ご家族に協力頂いて、買物支援等を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>友人や親族からの通信があったり、本人からの希望があった際は、個人の状況に応じては、職員が電話やお手紙等の支援を行い、通信が途絶えないように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂とリビングは繋がっており、台所で食事を作る様子を入居様は御自宅で過ごしている様を感じながら生活されている。また、フロアを中心に季節感のある掲示物をしたり、その日の天気と利用者様の様子に合わせて、細やかな温度管理湿度管理を行っている。</p>	<p>共用空間は広く採光もよく明るい。空気清浄機が作動し室温・湿度も室内環境が保たれている。壁面に入居者の書初めやぬり絵等が掲示され、ひな祭りの雛人形が飾られ季節感がある。利用者はテレビを見たり、テーブルを囲んでお喋りやお絵描きを楽しみながら居心地よく過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>10時15時にフロアでお茶を飲める時間を設け、レクエーション等行ったり、思い思いに過ごせるようにしている。また、廊下にソファを置き、気の向くままに気に入った場所で、過ごせるように配置している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の近い慣れた家具や小物など、御家族に協力を頂き、居室に置いている。また、環境整備を行い、安心安全にその人らしい生活が送れるように支援している。</p>	<p>居室は身体状態に応じてベッドが設置され、寝具類は持ち込みである。エアコンや整理ダンス・孫の写真・丸テーブル・鉢植えの観葉植物を置いたり、書道の作品を掲示する等、家族と協力して、その人らしい居室となり居心地よく過ごせるよう工夫されている。ハンガーラックに洋服や帽子・バッグが掛けられ何時でも着用したい衣服が選べるよう書初めやぬり絵に、職員の心配りがされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>それぞれの力を活用出来るようにトイレの場所の表示やダンスの中に入っている物の表示したり、居室にポータブルトイレを設置し自立した生活出来る様に支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない